

1. 概要

第 9 回関西 3 空港懇談会が開催され、取りまとめの中で神戸空港については発着枠・運用時間の拡大等についての合意がなされた。

2. 第 9 回関西 3 空港懇談会について

- ・開催日 : 令和元年 5 月 11 日 (土)
- ・座長 : (公社) 関西経済連合会 松本 正義 会長
- ・参加機関 : 国土交通省航空局、国土交通省大阪航空局、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、大阪市、堺市、神戸市、大阪商工会議所、神戸商工会議所、関西エアポート(株)、新関西国際空港(株)、(公社) 関西経済連合会

3. 取りまとめの基本的な考え方

- (1) 大阪・関西万博開催等の好機を逃すことなく、インバウンドの勢いを加速させ、関西全体の発展に繋げていくことが重要。
- (2) 関西空港を主軸に、各空港の特性を活かした最適活用による、「関西地域における一つの空港システム」の構築を目指す。
- (3) 各空港の課題について時間軸の視点を持ち、短期・中期・長期で整理。
- (4) 3 空港の位置づけと役割は変更しない。神戸空港は関空・伊丹を補完。

4. 神戸空港に関する合意内容

- (1) 2021 年頃までの短期の視点に立った取組
国内線発着枠、運用時間の段階的拡大 (当面、最大発着回数 60 回/日⇒80 回/日、運用時間を 22 時⇒23 時まで延長)、プライベートジェットの受入推進 (CIQ 関係省庁への協力要請等)
- (2) 2025 年頃までの中期の視点に立った取組
関空・伊丹を補完する観点から、国際化を含む空港機能のあり方の検討

(参考) これまでの関西 3 空港懇談会の開催状況

- 平成 15 年 2 月 : 第 1 回開催
- 平成 17 年 11 月 : 第 4 回 3 空港の役割分担についての合意
- 平成 22 年 4 月 : 第 7 回 3 空港一元管理等の方向性等についての合意
- 平成 30 年 12 月 : 第 8 回 8 年ぶりの開催、3 空港の運用見直しについて議論